

【高等学校用】

令和2年度学校評価 計画

学校名	佐賀県立佐賀東高等学校
1 前年度 評価結果の概要	「心の教育」「志を高める教育」「地域社会等との連携」「開かれた学校づくり」では、「概ね達成できた」という達成度であった。また、「学力向上」の「進路希望の実現」は、達成度が「やや不十分」であったが、成果も多く見られた。今年度に向けて改善が必要な部分や、新たに取り組まねばならない課題等も精査し、今年度に生かしていく。 「健康・体づくり」「いじめ問題への対応」では、「やや不十分である」という達成度であった。前年度の反省を生かし、今年度の取組に生かす必要がある。
2 学校教育目標	校訓「使命に生きる」「自主自律を尊ぶ」「明朗清新を喜ぶ」の精神のもと、生きて働く知識・技能の習得や未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力や人間性等の涵養を通して、未知の創りに求められる資質・能力の育成を図る。
3 本年度の重点目標	「生徒と教職員が元気で明るい学校づくり」を目指して！ ・「自分と他人を愛する」心の育成 ・「自ら考え、行動する」姿勢の育成 ・「夢の実現のためにベストを尽くす」姿勢の育成 ・「失敗を恐れずチャレンジする」姿勢の育成 ・「教師と生徒が業務改善に心がけ、綺麗で安心な学校をみんなでつくる」 ・「保護者、地域社会との連携をとる」 ・「教職員の研修強化、ICT活用教育の推進をする」

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	◎キャリア教育の充実および進路希望の実現 (夢の実現のためにベストを尽くす姿勢の育成)	○進学希望者それぞれの第一志望合格を目指す。国公立大学合格者5名以上、難関私立大学合格者15名以上を目指す。 ○就職希望者全員の希望職種への就職を目指す。	・各学年、時期に応じた研修、訪問、体験活動を計画的に実施し、自己理解、意思伝達力を身につけ、学ぶこと・働くことの意義や目的を理解させる。 ・自己の活動記録を残し、振り返りの中で自己の成長を確認できるようにする。
	○教職員の研修強化、ICT活用教育の推進	○1、2学期にそれぞれ各教科で最低1回ずつ授業公開を実施する。 ○全職員が研修を通してICT機器が活用できるスキルを身に付ける。	・教職員が互いに授業を参観、意見交換を行い、指導力を向上する。 ・校内外の研修機会を積極的に進め、情報提供と実施に努める。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○80%以上の生徒が、「相互尊重」の意識を感じられるよう、時期に応じて講話、指導を行う。	・「さがを誇りに思う講演会」「情報モラル講演会」等を実施し、豊かな心を醸成する。
	◎「失敗を恐れずチャレンジする」姿勢の育成	○80%以上の生徒が「自己肯定感、自己有用感」感じられるように、全ての教育活動の中で、生徒の自主性を重んじ、適切な指導・声かけを行う。	・「自分と他人を愛する心の育成」、「相互尊重」の意識を高めるため「いいねカード」の活用と、職員の肯定的指導心がける雰囲気づくりに努める。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○組織的な対応によって、いじめの早期発見、早期対応、被害の最小化、再発防止に努める。	・ホームルームや生徒会活動、教科指導等を通じて、好ましい人間関係等、いじめ問題についての適切な指導を行う。 ・速やかないじめ・体罰等対策委員会を招集して対応を協議、遂行する。
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。 ○清掃活動等を通じて学校生活に適した環境作りを推進する。 ○校内の危険箇所を毎月点検し、整備する。	・毎朝の登校指導を行う。 ・昨年度の交通事故データを元に、事故減少のための注意喚起を根気強く行う。 ・関係機関等からの外部講師による講演の実施する。 ・危険箇所の整備・校内美化に努める。
	○部活動の活性化の推進	○部活動の入部率を80%以上にする。 ○部活動単位でのボランティア活動等を積極的に行う。	・部活動紹介や体験入部の内容をより豊かにすることで入部を促す。 ・ボランティア活動の案内や参加を積極的に促す。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を毎週1日以上設ける。 ・部活動休養日の確実な設定を行う。 ・業務削減とその意識改革を会議等で呼びかけ、実用化する。
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○保護者・地域社会との連携	○地域貢献活動の推進 ○外部への積極的な情報発信・受信による活性化	○地元自治会等との連携・連絡を密にし、地域主催行事への協力等を通して、地域社会における信頼感の醸成に努める。 ○学校の活動を理解してもらうため、情報発信・受信に努める。	・地域行事の生徒への周知と積極的参加の呼びかけ。 ・「学校だより」の定期的発行。「学校パンフレット」の充実。ホームページや訪問による情報発信・受信の促進。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育